

小学校 理科の内容構成

第6学年「理科」シラバス

次の2領域です。
○物質・エネルギー
○生命・地球

6年生の目標

- 燃焼、水溶液、てこ及び電気による現象についての要因や規則性を推論しながら調べ、見いだした問題を計画的に追求したりものづくりをしたりする活動を通して、物の性質や規則性についての見方や考え方を養う。
- 生物の体のつくりと働き、生物と環境、土地のつくりと変化の様子、月と太陽の関係を推論しながら調べ、見いだした問題を計画的に追求する活動を通して、生命を尊重する態度を育てるとともに、生物の体の働き、生物と環境とのかかわり、土地のつくりと変化のきまり、月の位置や特徴についての見方や考え方を養う。

★評価の観点

- ①「自然事象への関心・意欲・態度」自然に親しみ、意欲をもって自然の事物・現象を調べる活動を行い、自然を愛するとともに生活に生かそうとする。
→行動観察・ノート・テスト等
- ②「科学的な思考・表現」自然の事象・現象から問題を見だし、見通しをもって事象を比較したり、関係付けたり、条件に着目したり、推論したりして調べることによって得られた結果を考察し表現して問題を解決している。
→行動観察・テスト・ノート等
- ③「観察・実験の技能」自然の事物・現象を観察し、実験を計画的に実施し、器具や機器などを目的に応じ工夫して扱うとともに、それらの家庭や結果を的確に記録している。
→テスト・行動観察・ノート等
- ④「自然事象についての知識・理解」自然事象・現象の性質や規則性、相互の関係などについて実感を伴って理解している。
→テスト・ノート・行動観察等

	学習する単元の名称	主な学習内容	
前 期	○空気と水と緑の地球	・地球上で人や他の動物が生えていくために、食べ物、水及び空気を通して周囲（環境）と関わって生きていることを理解する。	
	1 ものの燃え方と空気	・ものを燃やす実験をし、空気の変化を調べ、ものが燃えるときには、空気中の酸素が使われて二酸化炭素ができることを理解します。	
	2 人の体のつくりとはたらき	・人や他の動物を観察したり資料を活用して、呼吸・消化・排出及び血液循環の働きを調べ、人や他の動物のつくりと働きについて理解します。	
	3 植物の体のつくりとはたらき	・植物の様子を観察し、体内の水のゆくえやでんぷんを作るはたらきを調べるなどし、生命を尊重する態度を育てる。	
後 期	4 つりあいとてこ	・てこを使って力点や作用点の位置を変え、手ごたえの違いを知り、てこがつり合うきまりを理解します。 ・てこを利用した道具について調べます。	
	5 土地のつくりと変化	・土地やその中に含まれるものを観察し、土地のつくりや成因を調べ、土地のつくりと変化について理解する。	
	6 水溶液	・いろいろな水溶液を使って実験し、水溶液には、金属を変化させるものがあることを知ります。また、水溶液には、酸性・中性・アルカリ性があることや気体が溶けているものがあることを理解します。	
	7 月と太陽	・月と太陽を観察して、月の置や形と太陽の位置を理解します。また、月の表面の様子は、太陽と違いがあることを理解します。	
	○電流による発熱	・長さが同じで太さの違う電熱線に電流を流して発熱の程度を調べ、電熱線は太さによって発熱する程度が変わることを理解する。	
	8 電気の利用	・手回し発電機などを使って電気はつくりだして使えることがわかり、電気のよって光、音、熱を出したり、物を動かしたりできることを理解します。	
	9 生き物と環境	・ヒトの活動と自然とのかかわりについて調べ、自分たちができる自然を守る工夫を考えます。	